

川遊びを通じて、家族がふれあう機会を増やしたい――

三年前から、第三小学校の課外授業「大井川はかせになるう」の川遊び特別講師として、大井川の歴史のほか、川の遊び方や危険・マナーなど、3年生の児童たちに教えています。

【きっかけは息子】

「息子が3年生のとき、少し落ち着きがなかったので、ときどき学校へ相談をしに行っていました。あるとき、先生からの『新しい課外授業のため、川や魚に詳しい人を教えてください』という問いかけに、うちの息子が手を挙げて私を推薦したんです。先生方にお世話になっていたときですから、断るわけにはいきませんよ」と苦笑いをしながら語る中村さんは、小料理店の跡継ぎです。

「仕事柄、魚を扱うし、釣り好きなことも息子は知っていましたからね」中村さんの人柄の良さや優しい笑顔は、児童らに受け入れられ、どの

子からも慕われています。「講師となったことが影響したのか分かりませんが、息子は4年生になって落ち着き、作文で表彰されるまでになりました。先生たちには感

なりました。最近では『川は危険だから近寄るな』という言葉をよく耳にします。ですが、自然や生き物と触れ合っ

て、その楽しさや怖さを教えてくれる遊び場であること



島田第三小学校 課外授業特別講師
なかむら けいすけ
中村 恵右さん（本通六丁目）

謝しています」

【自然と遊び学ぶ】

「父が川好きで、子どもの頃、よく川に連れて行かれ、いつの間にか私も川が好きに

は、昔と何も変わっていません。この授業で、一人でも多くの子どもに川好きになってほしいですね」と、川で遊ぶ子どもたちを見つめます。「講師をやって、自分は

井川のことを知らないことに気がきました。大井川の歴史や住んでいる生物など、子どもたちの質問に答えるため、必死に調べました。この歳になって新しい発見ができるのも、子どもたちのおかげです」

【川が家族を近づける】

「課外授業が終わると、子どもたちが感想文を送ってきます。これも楽しみの一つですね。『魚を捕まえられて嬉しかった』『生まれて初めて川で遊んだ』という感想が書いてあったら、私の課外授業は大成功。川で遊んだことがないお父さんやお母さんも多いと思いますので、子どもから誘って、川に連れ出すようになってくれたら最高です」今では、子どもたちを川に呼び戻すことが、中村さんの目標になっています。

「川を、いっぱい笑顔で埋め尽くして欲しいです。川遊びの経験の少ない人も、この夏、川デビューしてみてください」と、川面に反射する日射しに目を輝かせながら、笑顔で語ってくれました。



子どもたちに魚の捕まえ方を教える中村さん



Shimadian File #26